

オンライン下での講義課題について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年9月1日）

前期の経験上、オンライン化に伴って各講義で毎週課題が出されており、全て合わせると学生の負担が過大になっていました。成績評価の都合上ある程度仕方がないこととは承知していますが、現状ですとその場しのぎで課題をこなすことに意識が向き各科目に注力する時間もないために GPA と到達度の相関が例年より弱くなっているものと思います。そういった観点からも課題の総量を減らすことが必要だと思われます。対応の程よろしくお願いします。

【回答】（回答日：2020年9月7日）

（回答者：教育推進・学生支援部教務企画課）

大学設置基準 第二十一条では、1 単位の授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することとなっています。したがって、通常 2 単位の授業科目の場合は、授業時間と授業外学修（予習・復習）の時間を含め 1 週につき 6 時間の学修を必要とする内容をもって構成されております。このことを踏まえ、課題の頻度や分量については、科目の性格や授業方法などに応じて、予習・復習の時間配分等も含めて、授業担当教員が決定しています。

オンライン授業実施によって求められる課題が全体として過重となっているという意見があることは承知しています。しかし、上記のように、どれくらいの量の課題を求めるかは担当教員に任されており、個々の学生にとっての課題の総量をルール化して規制することは考えていません。学生諸君は履修する授業の数を決める際に、果たすべき課題のことも考慮して決めるようにしてください。また、授業の際に、担当教員に課題のことを相談することも考えられると思います。